

## Chapter 04: ランキングの脅威

更に半年が経過した。三原の運営するワークブーツ専門通販サイトの売上は、実店舗全店の合計売上を凌ぐまでに成長していた。

するとある日、競合会社でネット通販大手のデジタルブラック社から、通販サイトを含めたM&Aの話が好条件で舞い込んできた。

しかし実直な三原は「父から引き継いだ大切な会社だから身売りするなど考えられない」ときっぱりと断った。

すると、デジタルブラック社からの様々な妨害が始まったのだった。

### Chapter 04

#### 「ランキングの脅威」



おかしいな。  
ここ数日で急激にネットでの売上が落ち込んできている。  
何が原因なんだろう・・・？



うーん・・・あっ、このサイトはなんだっ！？



なにに？  
「写真が誇張しているので、商品が届いたら品質が悪く残念」  
「返品を依頼したが、クーリングオフ期間を過ぎているから  
履いてなくても受け付けてくれない」……………。



消費者が自由に書き込みできる、  
人気のファッション情報サイトだって聞いたけど・・・。  
うちの通販サイトの悪口を書き込んでいる人がたくさん  
いるじゃないか！！



なんだこれは！？  
今までうちの通販サイトに感想を書いているお客さまの声と  
真逆じゃないか。  
この書き込みは本当にうちのお客さまが書いたのだろうか？

数日後、デジタルブラック社から靴の通販サイト人気ランキングが公開された。

三原が運営する通販サイトはそのランキングには入っていなかった。

どう考えてもランキングに入らなりのはずが。

大手からの再三の妨害に三原はどう対処していいかわからず、  
またもやあの公園でぼんやりと過ごしていた。



やあ。半年以上ぶりですか？  
今日は前回と一転して暗い顔をしていますね。



ええ・・・ウェブサイトのデータ分析に力を入れたことで、  
検索上位にも表示されるようになって、僕の会社のネットビジネスは  
急成長しました。



それはよかった。



でも、ここ1ヶ月で急激に売上が低迷し始めて・・・。



なにか原因が？



ええ。  
ある口コミサイトにうちのサービスに不満があるとか、  
返品を受け付けないとか、嘘の書き込みが多発していたんです。



そういうことですか。



あまりに腹が立ったので、  
「うちはそんな不当なサービスはしていません」って書き込みを  
したんです。



正義感が強いあなたらしい。

### Chapter 04

#### 「ランキングの脅威」